広告から学ぶフォントの選び方

- フォントとは？　文字の形のこと
- 日本語フォントで代表的な２パターン
  - ゴシック体
  - 明朝体
- 広告バナーで大事なこと
  - **注意を引きつけ、伝わるか**
    - **目に入るか？**
    - **目に入ってくる、目立つことを優先することが多い**
    - **読みやすいか？**
    - **ただ、デザイン、アート的に良さげなものを作るのではない**
  - なぜか？
    - たくさん情報がある中で目に入らないといけないから
    - Youtube広告だったら、たくさん動画がある中に表示される

    - Facebook、インスタグラム広告だったら、投稿の流れの中に表示される
    - ターゲットに合っているか？
  - ゴシック体
    - 太いゴシック体は目に入ってきやすいので結構使われる

  - 明朝体
    - 高級感が出やすいフォント
    - ただ広告の場合はインパクトも出したいので太字にすることも多い

- 文字の扱い方
  - 文字間を均一にする
  - 数字だけ英字フォントにする
    - 垢抜ける
  - 強弱をつける
    - 全部同じ文字サイズだとどれも目に入ってこないため
    - 大中小
  - フォントの種類は最大３種類くらいにした方がいい
    - 統一感がないバラバラなデザインになってしまうため
- フォント選びの基準
  - 目に入ること
    - 文字は太い方が目に入りやすい
  - コンセプトに合うこと
    - 高級感か、インパクトか、ポップか
  - **どういった人向けか？**
    - 年齢層が高い人向け
    - 太め、大きめのフォント
- もったいないデザイン
  - 読みづらい
    - 雰囲気は良いのに読みづらくてもったいない。

- ターゲットに合わせたフォント
  - 男性向け
    - 太めのゴシック
      - 新ゴ
      - ヒラギノ角ゴ
      - サンセリフ
      - A-OTF ゴシックMB101 Pro　女性向けでも使う

  - 女性向け
    - フォーク体
      - 女性向けのデザインに使われることが多い
      - 女性向け、子供向けのデザインに使われることが多い
      - 優しめ、ポップな印象になる
    - 丸ゴシック

    - あんずもじ等幅2020
    - 手書きフォント
      - 女性向け、子供向けのデザインに使われることが多い

    - 明朝